令和８年度大田市ビジネスプランコンテスト　審査要領

（目的）

第１　この要領は、令和８年度大田市ビジネスプランコンテストの審査方法、項目及び基準等を定め、もって公平な審査を行うことを目的とする。

（審査の方法）

第２　審査方法等は以下のとおりとする。

（１）審査の対象

市長が別に定める申請書等の関係書類を審査の対象とする。

（２）審査委員会及び審査員

ア　審査委員会は下記に定める審査員をもって構成する。

イ　審査員は、「大田市ふるさと応援団実行委員会」の委員のほか市長が別に定める有識者等とする。

（３）評価点及び審査項目

ア　評価点の合計点は１００点とする。

イ　審査項目及び配点は、本要領別紙１に定める「審査項目及び評価内容」のとおりとする。

（４）審査方法

申請書等関係書類を対象に、審査員が本要領別紙１に定める「審査項目及び評価内容」により一次審査については書面、最終審査については対面にて、審査を行う。

各審査員の別紙２「審査表」における採点の合計を各申請の点数とし、各審査員の評価点の合計値を総評価点とする。原則総評価点が高いものから順位付けをする。

（５）複数の同得点者が生じた場合

複数の同得点者が生じた場合は、審査員の審査項目「収益性・集客性」、「地域資源の活用または地域課題の解消」の合計点が高いものを上位とする。

（６）最低基準

各審査員の配点合計値の６割以上であることを最低基準点とし、最低基準点を満たさない申請者の順位付けは行わない。

（７）審査員の除斥

ア　審査員は、次のいずれかに該当する場合には、すみやかに文書で申し出なければならない。

①申請者の企画提案書の中に、何らかの形で審査員自身が参画する内容の記載があった場合

②審査員が所属している団体から申請があった場合

③審査員自身が、過去５年以内に申請者から寄附を受けている場合

④審査員自身が、過去５年以内に申請者と共同で事業を行いかつそのための資金を審査員自身が受けている場合

⑤審査員自身と申請者との間に、過去５年以内に取引がありかつ申請者からその対価を審査員自身が受け取っている場合

⑥審査委員自身が、競争参加者の発行した株式または新株予約権を保有している場合

⑦その他、申請者との間に深い利害関係があり、当該申請者の審査を行った場合に社会通念上の疑義を抱かれるおそれがある場合

イ　前号の１号から６号に該当する場合、当該審査員はその関係性を有する申請者の審査を行ってはならない。また、７号に該当する場合、事務局は当該審査員の審査の可否についての決定を求めなければならない。ただし、当該審査員自ら当該申請者の審査を辞退した場合はその限りではない。

ウ　審査委員会は、前項の要請を受けた場合はただちに審査員の中から委員長を選任し、当該審査員の審査の可否について決定しなければならない。

エ　審査員は、前項により審査委員会が審査を行ってはならないことを決定した場合はその関係性を有する申請者の審査を行ってはならない。

（８）秘密の保持

審査委員は、本審査で知り得た情報を口外してはならない。ただし公表されている内容はその限りではない。

（９）不公正な働きかけ

ア　審査委員は、当該審査について不公正な働きかけがあった場合は、すみやかに市長に報告しなければならない。

イ　市長は前項の報告を受けた場合は、適切に対処しなければならない。

附　則

この要領は、令和８年 11 月 12 日から施行する。

別紙１

令和８年度大田市ビジネスプランコンテスト　　審査項目及び評価内容

以下の各項目の評価内容に基づき、各項目の配点の合計を１００点満点として採点し、各審査員の採点数の合計により順位付けを行う。

審査項目	評価内容	配点
事業内容	実施する事業の計画、内容、趣旨、目的等が明確か	20 点
収益性・集客性	一定の収益・客数を確保し、事業の継続が見込めるか	20 点
商品・サービスの特徴	商品・サービスの特徴が明確か	15 点
顧客ニーズ	ターゲット・ニーズが明確か	15 点
地域資源の活用 地域課題の解消	地域資源を活用した事業か 地域課題の解消につながるか （地域活性化、土産品の開発など）	30 点
計		100 点

※1 項目「地域資源の活用・地域課題の解消」の点数について、①~③のテーマに該当すると認められた場合には、審査員点数に加えて、各テーマにつき 2 点の加点を付与します。（上限 30 点満点）

※2 項目「地域資源の活用・地域課題の解消」について、両方ともに該当していても差し支えありません

別紙２

令和８年度大田市ビジネスプランコンテスト

審査表

申請者	

審査（採点）者：

審査項目及び評価内容	配点
１．事業内容	／20 点
実施する事業の計画、内容、趣旨、目的等が明確か	
２．収益性・集客性	／20 点
一定の収益・客数を確保し、事業の継続が見込めるか	
３．商品・サービスの特徴	／15 点
商品・サービスの特徴が明確か	
４．顧客ニーズ	／15 点
ターゲット・ニーズが明確か	
５．地域資源の活用・地域課題の解消	／30 点
地域資源を活用した事業か 地域課題の解消につながるか （地域活性化、土産品の開発など）	
計	／100 点